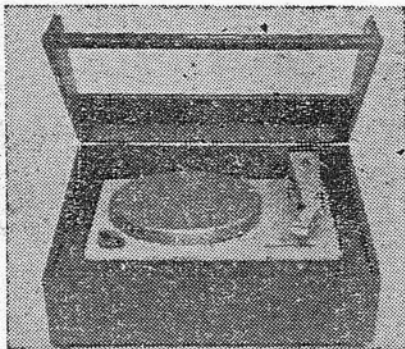


# 国内新製品紹介

## ニートの新製品3種

### ● 4スピード・ステレオ・モノ・プレーヤー “NP-135”

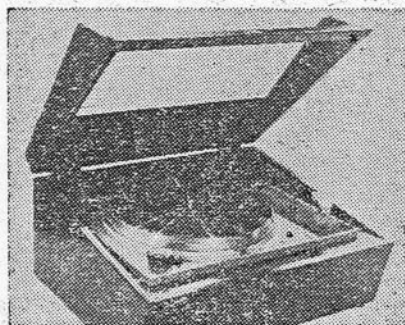
モーターは取組コイル型4極インダクションタイプで、ターンテーブルには25cm鉄板プレス(1.3kg)、SN比40dB以上、ワウ0.3%以下、速度調節は15%(マグネチック型)である。カートリッジは同社のステレオ・マグネチック型でレスポンスは30~17000c/s、出力電圧は15mV 5mm/sec、チャンネル絶縁は27dB(1000c/s)、チャンネル・バランス±1dB、コンプライアンス $1.9 \times 10^{-6}$  dyne/cm、針圧は5grである。アームはニート30cmオイル・タンブ型を使っている。正価は¥22,000。



### ● 4スピード・ステレオ・モノ・プレーヤー “NP-6812”

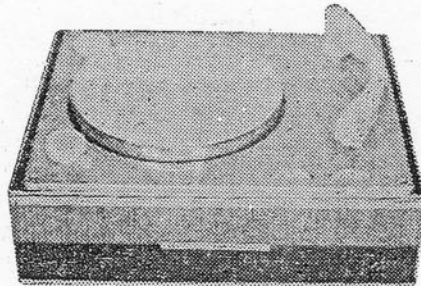
本機はプロフェッショナルのプレーヤーで、どんな時でも光がなくても回転数が一目でわかるイルミネーション・ストロボ装置つきである。

モーターは前記のものと同じだが、ターンテーブルは30cmアルミ合金の鋳物である。SN比45dB以上、ワウ0.25%以下、カートリッジは前と同じ、トーン・アームは30cmステレオ用である。正価は¥28,000。



### ● 4スピード・ステレオ・モノ・プレーヤー “NP-150”

4極インダクション・モーターを使ったもので、ターンテーブルは20cm型、ピックアップはクリスタル型である。木製キャビネットにプラスチック・カバーつきである。正価は¥10,500。



(東京都千代田区神田旅籠町4の1)  
ニート音響 K. K.

## グレースのステレオ用アーム “G-240”

正しくはG-240ステレオ・バランス・アームといい、トラッキング・アビリティが極めて高く、ダイナミック・バランスが完全にとつてあるので、レコードが反ったり偏心していても、またプレーヤーが大きく傾いていても、楽に音溝をトレースすることができる。サイズは14インチ型である。附属品として針圧計、シールド端子、シールド線、調整用ドライバーがある。定価は¥4,100



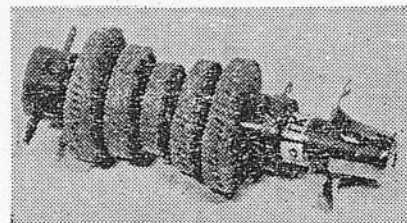
(東京都品川区大井元芝町870)  
品川無線 K. K.

## TK. Denki の RFC

アマチュア無線用の送信機に、またはFMチューナーなどに各種のRFCが必要であるが、TK. Denkiでは新しく電流容量250mAの2.5mHを発売した。

これは分布容量をきわめて少なくするように設計されており、五分割巻きになっている。取りつけには9mmφの穴をあけて差し込むだけでよい。

その他各種電流容量のRFCも製作しており、インダクタンスも各種のものがある。また特註にも応ずる用意があるのでご利用願いたい。

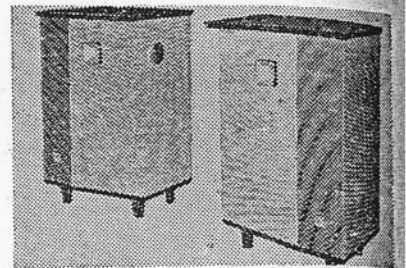


(東京都千代田区神田仲町2-3)  
TK. 電機商会

## パイオニアの新製品2種

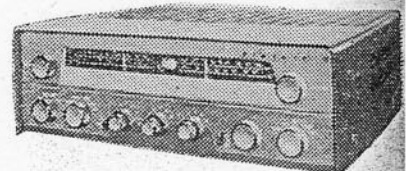
### ● 2ウェイ・ステレオ用 SP システム “CS-181S”

このSPシステムはホーン型トゥイーター“PT-4”とウーファ“PW-18A”を組合わせたもので、本格的なネットワークを自蔵し、トゥイーターにはレベル・コントロールがついている。主な規格は、インピーダンス16Ω、再生帯域80~16,000c/s、最大許容入力8W、出力音圧レベル100dB/W、全高672mm、全幅454mm、奥行300mm、容積56,700cm<sup>3</sup>、重量は14.5kgで、バスレフ型である。正価は¥12,300×2。



### ● ステレオ・マスター “SM-B200”

2組の2バンドAMチューナー(535~1605kc、3.8~12Mc)とFMチューナーをもつ総合アンプである。プリアンプ部には4個のトランジスターを使い、プリント配線を採用している。新型バリオームにより、2チャンネル連動にも単独にも調整できる音量、音質調整装置、またステレオ・プレゼント・コントロールもそなえるぜいたくなものである。使用真空管および石は6BM3×4、12AX7、6AR4、6GE12、2SB-73×3、6AQ8×2、6BE6×2、6BA6×4で、消費電力は160VA、再生周波数は20~20,000c/sで、最大出力は14W×2、無歪出力は9W×2、チャンネル・セパレーション52dB以上、トーン・コントロールはCR型、入力端子は各チャンネルともMag(Low)3mV、Mag(High)18mV、Mic 5mV、Xtal 100mV、Aux 100mV、出力端子は各チャンネルとも4、8、16Ωである。外形寸法は幅410×高さ147×奥行300(mm)で、重量は12kgである。正価は¥35,900。

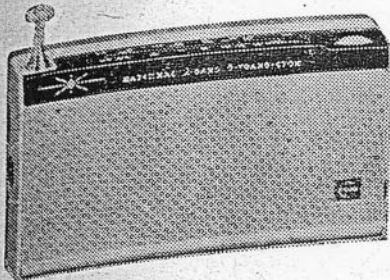


(東京都文京区音羽町6の5)  
福音電機 K. K.

## ナショナルの新製品3種

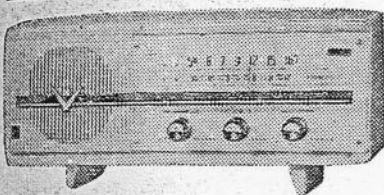
● 8石2バンド・ポータブル “T-41”  
うす型、高感度を売物にするトランジスタ

ラジオである。使用の石は 2SA102×3, 2SA101, 2SB171×2, 2SB172×2 で、その他 OA70, MA 23B を使っている。感度は MW 120 $\mu$ V/m/5 mW, SW が 200 $\mu$ V/m/5mW, スピーカーは 6.5cm PM 型、電気的出力は無歪 130mW, 最大 200mW, 使用電池は特単三×4 の 6V, 外形寸法は幅 156×高さ 90×厚さ 34 (mm) で、重量は 600gr である。正価は ¥12,000。



●2バンド・ルーム・ラジオ“DX-475”

受信周波数帯は 535~1605kc と 3.75~12 Mc で、使用真空管は 12BE6, 12BA6, 12AU6, 30A5, 35W4 で、感度は MW, SW とも 80  $\mu$ V/50mW, 出力は無歪 1.2W, 最大 1.5W, 消費電力は 23VA, スピーカーは 10 cm 型, 外形寸法は幅 331×高さ 151×奥行 130(mm), 重量は 1.8kg である。定価は ¥6,200。

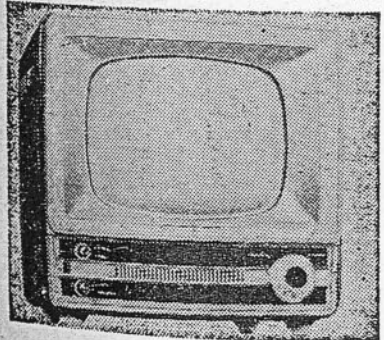


(大阪府北河内郡門真町)

松下電器・ラジオ事業部

●14型高感度受像機“T14-G7”

同社の誇るフレーム・グリッドを用いたゴールドン・ゲート管 7DJ8 を RF 増幅に使った、高感度・遠距離用の受像機である。使用真空管はブラウン管ともで 16 球、ほかにゲルダイ 3 個、シリコン・バリオード 1 個を使っている。スピーカーは 18×10 cm の楕円型のダブル・コーンで、音声出力は無歪で 2W となっている。回路としては特殊平均値型 AGC, パルス幅 AFC, AFT 方式の自動微調を採用している。消費電力は 135W。また本機は有線または閃光によるリモーター（遠隔操作装置）も使えるようになっていて、ワイヤでは ①チャンネル切換, ②音量, ③輝度, ④電源の ON-OFF, ⑤イヤホンがコントロールでき、ライト式では ①チャンネル切換, ②電源の ON-OFF ができるようになっている。キャビネッ



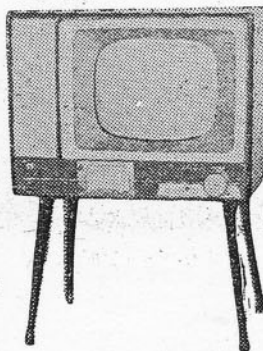
トは木製の卓上型で、外形寸法は高さ 460×幅 460×奥行 450 (mm) で、重量は 18.5kg である。正価は 62,500。

(大阪府茨木市大字畑田 150)

松下電器・テレビ事業部

フルタカの TV キット  
“K-350”

前面に 18×10cm の楕円型スピーカーが 2 個つきブラウン管を含んで 17 球の 14 型受像機で、トランスレス方式である。映像 I F 増幅は 3 段、音声はロックド・オシレーター検波方式、その他パルス幅 AFC, 尖頭値型 AGC という回路になっている。

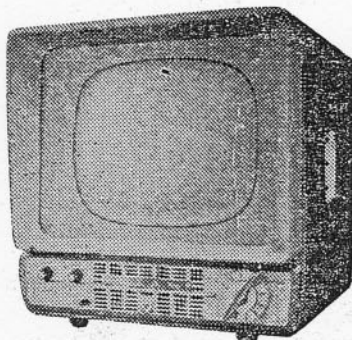


(東京都千代田区神田旅籠町 3 の 7)

古鷹無線 K. K.

ユタカの遠距離用 14 型テレビ  
“DY-60”

6RH2, 6MHH3 の使用により高感度を得ている。日立のシリコン・ダイオード HR-25 を使用したセミトランスレス方式の電源である。スピーカーは楕円型のもので前面に取付けられており、操作のためワンタッチ・コントロール・システムをとり、押ボタンによるブラウン管保護のためのスポット・キラー回路も備えている。主な規格は、使用真空管 17 石+2 石、入力感度は 100  $\mu$ V (15 dB アッテネーター付), 映像 IF は 3 段 (隣接チャンネル・トラップ付), 音声はレシオ検波, AGC は尖頭値型, AFC はパルス幅方式, 音声出力は 1.8W, 消費電力は 140 W, 重量は 25 kg。

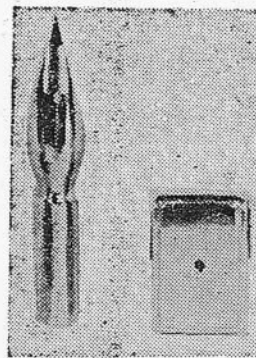


(東京都台東区長者町 1 の 3)

ユタカ電機 K. K.

ニュー・プラスチック KK  
のミニホーン“VM-1001”

同社から写真でベン先と比較してあるような超小型のミニホーンが発売された。本製品はマイクとしてもレシーバーとしても使用できるも



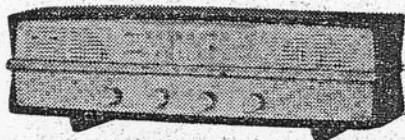
ので、マイクとしての規格は、マグネチック・バランス型、インピーダンスは 1000c/s において 700  $\Omega$ , DC 抵抗 120  $\Omega$ , 感度は 1000c/s において -75 dB レシーバーとしての特性は感度が 1000c/s において 120dB, 再生音域は 100~5000c/s, 外形寸法は 19×12.5×7 (mm) で、重量はわずか 3.2gr である。

(東京都大田区調布嶺町 2 の 18)

ニュー・プラスチック K. K.

リンカーンの 2 バンド・ラジオ  
“5M-W1”

オール・プラスチックのケースに納められた本機は、整流管に 5MK9 を使った 5 球のトランスレス方式である。使用スピーカーは 4 インチ型が 2 個ついていて、トーン・コントロールはスイッチ切換方式になっている。

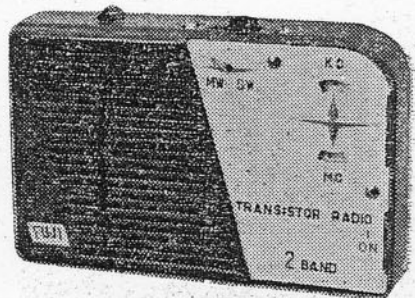


(東京都品川区西大崎 1-390)

リンカーン電機 K. K.

村山無線の 2 石 2 バンド・ラジオ

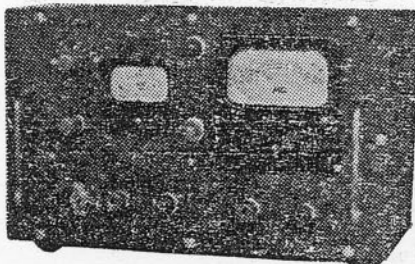
2 石ラジオながら 2 バンドという小型ラジオである。スピーカーは 6.5cm 型を内蔵し、外形寸法は、幅 115×高さ 70×奥行 32 (mm) である。正価は ¥3,800。

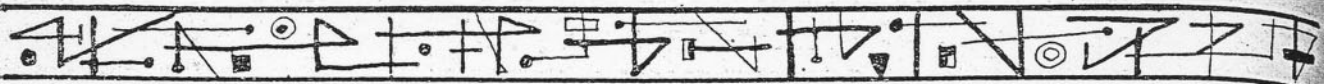


(横浜市神奈川区白幡町 118)

村山無線 K. K.

玉川通信工業の絶縁抵抗計





本機はトランス、コイル、コンデンサ類その他各種の絶縁抵抗を 500 V、1000 V の 2 種の電圧を印加して測定するもので、操作がきわめて簡略化されている。測定範囲は 5000V で 0~500MΩ、1000V で 0~2000MΩ、電源入力 は 100V、50~60 c/s.

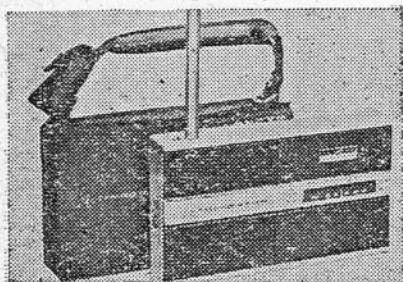
(東京都世田谷区玉川上野毛町 368)

玉川通信工業所

### オンキョーの新製品 3 種

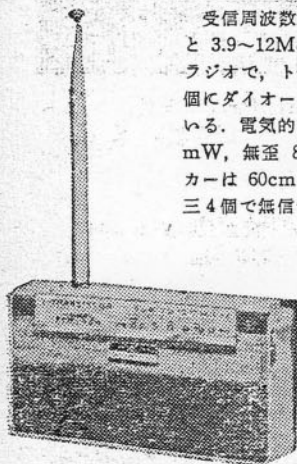
#### ● 8 石 2 バンド・ラジオ “8TR-300”

本機はトランジスター 8 個と、ダイオード 2 個を使った超薄型の 2 バンド・ラジオで、8cm 型 (ノンプレスコーン) スピーカーに B 級 PP の出力段で NFB をかけて音質の向上をはかっている。付属品として、マグネチック・イヤホン、9 段伸びのロッド・アンテナなどがついている。正価は ¥12,000.



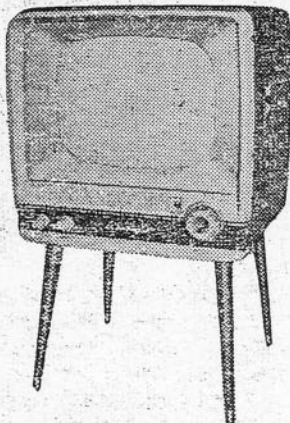
#### ● 7 石 2 バンド・ラジオ “7TR-400”

受信周波数帯 535~1605kc と 3.9~12Mc の 2 バンド・ラジオで、トランジスター 7 個にダイオード 1 個を使っている。電気的出力は最大 120 mW、無歪 80mW、スピーカーは 60cm 型、電源は単三 4 個で無信号時の消費電流は 8mA である。外形寸法は幅 138×高さ 77×奥行 36.5(mm) で、重量は 395gr である。現金正価は ¥9,800.



#### ● 14 型卓上遠距離用テレビ “OT-2000FL”

目の疲れないようにスモークドガラスを使っているほか、高 gm 4R-HH2、5M-HH3 管を使ったカソード・チューナーがついており、遠距離でも明瞭な受像ができる。使用真空管はブラウン管ともて 17 球で、スピーカーは 15×10cm の楕円型がついている。音



声出力は最大 2.0W、消費電力は 140VA である。外形寸法は横 460×高さ 470×奥行 460 (mm) で、重量は 22kg である。正価は ¥58,000.

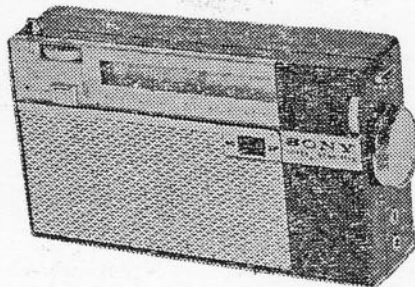
(大阪市旭区大宮西 5 の 32)

大阪音響 K. K.

### ソニーの新製品 2 種

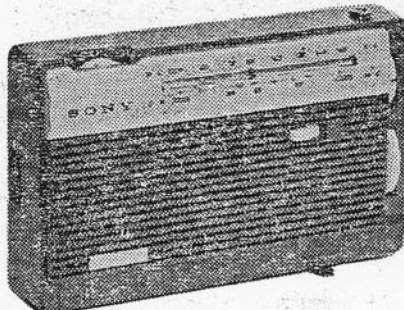
#### ● 8 石 2 バンド “TR-813”

8 石で高周波一段つきのスーパーである。夜間暗いところでも選局がしやすいようにパイロットランプがついている。また音質の切換スイッチがついており、出力、入力用のジャックを使うと、テープレコーダーにラジオを録音したり、レコード・プレーヤーを使って電音とすることもできる。受信周波数は 535~1605kc、3.9~10.5Mc で、選択度は 25dB、出力は無歪で約 150mW、最大 210mW、スピーカーは 8cm 型、電源は単三 3 個の 4.5V を使っていて、無信号時 10mA、無歪最大出力時が 210mA である。外形寸法は 112×200×50mm で、重量は 1kg、正価は ¥13,900.



#### ● 7 石 2 バンド “TR-716B”

受信周波数 535~1605kc と 3.9~10.5Mc の 2 バンドであるが、選局にはファイン・チューニングのつまみがついているので短波の同調も容易である。またバーニア機構にはナイロン・ギヤを用いているのでダイヤルの動きはスムーズである。電源としては単二を 2 個の 3V を使っていて、それで約 3ヵ月もつから経済的である。消費電流は無信号時 14mA、無歪最大出力時 83mA、スピーカーは 6cm 型、出力は無歪 100mW、最大 180mW である。外形寸法は横 152×高さ 91×厚さ 41 (mm) で、重量は電池ともて 500gr である。正価は ¥10,300.



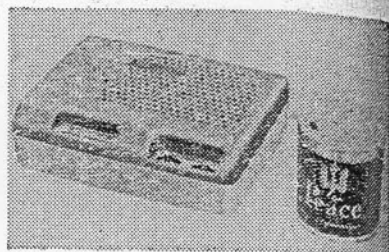
(東京都品川区北品川 6 の 351)

ソニー K. K.

### スタンダードの 7 石ラジオ “フォノン”

7 石+2 ダイオード+1 サーマスターのシン

グルバンドのラジオ兼電音である。内容は 2N219、2N218×2、2N215×2、2N217×2、SD-46×2、D-2B で、感度は 200μV/m/10mW、アンテナは 10φ×120L (mm) フェライト・アンテナ、出力は無歪 180mW、最大 280mW、スピーカーは 8cm である。電源は単二を 4 個 6V。消費電流は無信号時で、ラジオが約 10mA、フォノが約 80mA、ターンテーブルは直径 100mm (グ盤に適合) で、回転数は 45 回転、PU はクリスタル型でアームは 108mm、外形寸法は 181×133×53 (mm) で、重量は電池ともて 1.3kg.



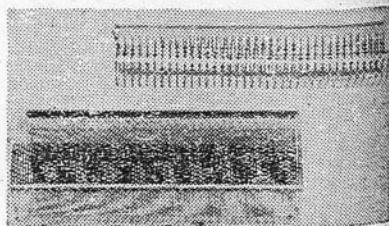
(東京都渋谷区向山町 53)

スタンダード無線 K. K.

### JELECTRO のハム局用 AIRDUX コイル

JELECTRO では新しく 17 種類のアマチュア無線用を売り出した。コイル直径は 15、20、25、30、40、50、50 mm の 7 種、使用線径は 0.5、0.8、1、2mm の 4 種がある。これらのコイルは受信機用、送信機の段間および終段用、またはアンテナ・カップラー用としてもっとも適するように設計、製作されている。コイルはすべて自立空芯で、セパレーターには良質のポリスチロールを用いているので、Q は非常に高く 200 から 450 を得ることができる。

ストック番号	コイル直径 m/m	使用線径 m/m	25m/m あたりの回数	1 回あたりのインダクタンス μH	定価
150886	15	0.8	6	0.046	250
150816	15	0.8	16	0.126	250
150532	15	0.5	32	0.247	250
20086	20	0.8	6	0.051	250
200816	20	0.8	16	0.167	275
200532	20	0.5	32	0.335	275
2516	25	1.0	6	0.102	275
25116	25	1.0	16	0.275	300
250532	25	0.5	32	0.553	300
3016	30	1.0	6	0.15	350
30116	30	1.0	16	0.409	375
4026	40	2.0	6	0.286	425
40116	40	1.0	16	0.753	450
5026	50	2.0	6	0.315	500
50116	50	1.0	16	0.8	525
6026	60	2.0	6	0.346	575
60116	60	1.0	16	0.92	600



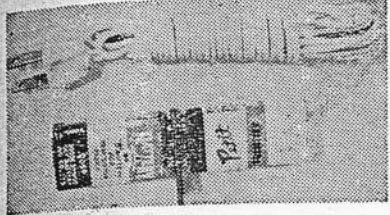
(東京都品川区小山 8-1094)

ジェレクトロ・カンパニー



### 日本積層のフルマイター・ペティ

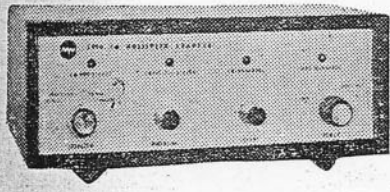
これは積層乾電池 006P と全く同形で、電池の代用および電池の充電ができるもので、006P を使っているトランジスター・ラジオなら、これに取換えてしまうこともでき、その場合1日4時間ずつ使用するとして電気代は5ヵ月でわずか10円ぐらいにしかつかないとのことである。また006Pを充電する場合、充電時間は1~1.5時間ぐらいが適当で、電池の寿命は約5倍になる。正価は ¥650。



(東京都板橋区志村本運沼 103)  
日本積層乾電池工業 K. K.

### トリオのコンパチブル・FM ステレオ・アダプター “AD-1”

本機は FM チューナーとステレオ・アンプの中間に接続してクロスビー方式のコンパチブル(両立)ステレオ放送, FM マルチプレックス・ステレオ放送, モノラル FM, モノラル・マルチプレックスなどをスイッチの切換えで自由に選択受信することのできる新方式のアダプターである。なおクロスビー方式のコンパチブル・ステレオとは、普通のチューナーで受信すればモノラルとして左右が混合してきこえ、アダプターを附加してサブチャンネルで送られてくる信号とメイン放送とを混合してやると、右と左が完全に分離されてステレオ放送になるというもので、現在東海大学の FM 放送で実験電波を出している。



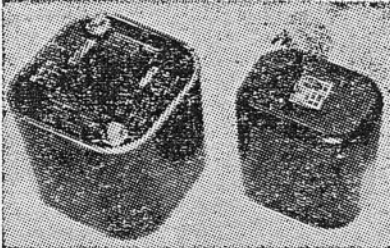
(東京都大田区調布千鳥町 74)  
トリオ K. K.

### ラックスの新型低周波チョーク

トランス・メーカーのラックスから下表に示すような規格の低周波チョークが売出された。なおこれは10年間耐久を保証し、フリー・サービスを行うという。

番号	インダクタンス(H)	重畳直流量(mA)	直流抵抗(Ω)	安全電流値(mA)	定価(¥)
4BC5	5	120	155	160	800
4BC10	10	85	285	120	

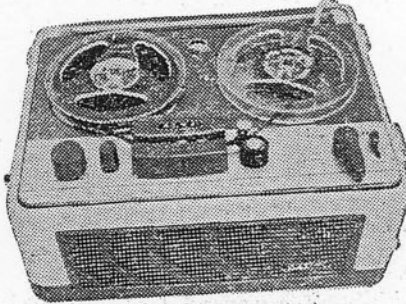
4BC20	20	60	640	80	800
4BC30	30	50	830	65	
4BC100	100	27	3200	34	
5BC5	5	150	100	250	
5BC10	10	110	195	190	1,150
5BC20	20	75	430	130	
6BC5	5	200	84	310	
6BC10	10	140	185	210	1,550



(大阪市西成区長橋通2の22)  
錦水電機工業 K. K.

### アイワのテープ・レコーダー “T-505”

ワン・セレクター・システムの採用により、録音、巻戻し、再生が一つのつまみで簡単に行なえる。またこの種のテープレコーダーとしては最大口径である5型のスピーカーを使っている。使用テープは5型あるいは3型、テープ速度は19,9.5cm/秒の2つ、ダブル・トラックである。ワウ・フラッターは0.3%以下、入力回路は Mic, Aux, 出力回路は 15×10(cm) のパーマネント・スピーカー(Ω), Ext Sp 用出力ジャック、周波数特性は 19cm/秒のとき 50~10,000c/s (±5dB), 9.5cm/秒のとき 100~7,500c/s (±5dB), 100~7,500c/s (±5dB); SN比は基準録音レベルで 40dB 以上、交流バイアス周波数は 35kc, 消費電力は 70VA, 外形寸法は横 320×奥行 260×高さ 152(mm) で、重量は 8kg である。現金正価は ¥21,500。



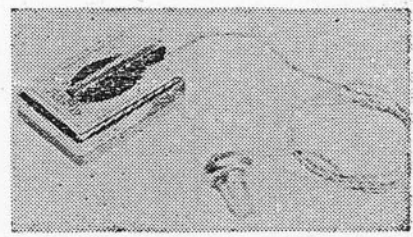
(東京都千代田区元佐久間町 4)  
アイワ K. K.

### アポロの新製品3種

#### ●超小型補聴器 “TH-300”

太陽電子 kk ではマッチ箱より小さいおそろく世界最小といえる補聴器を完成した。使用のトランジスターは4石(抵抗結合)である。マイクは電磁型(感度 -75dB 1000c/s), イヤホン型は電磁型(感度 120dB/mW), また電話をかけるのに使うテレホン・コイルのインピーダンスは 600Ω, 使用電池は単五(1.5V)または水銀電池(1.3V)である。大きさは 50×35×

15(mm)で、重量は単五電池ともどもで41grである。価格は ¥12,000。



#### ●ペンシル・チューブ

国産唯一の極超短波用三極管である。写真の左は 5794 で、右は 6562 である。5794 は極超短波発振管で傍熱型酸化物陰極の三極管である。全長は 116mm(max), 直径 23mm(max), 最大定格は  $E_f=6.6V$ ,  $I_f=170mA$  (DC),  $E_b=117V$  (DC),  $I_b=35mA$  (DC),  $P_d=4W$ ,  $T_o=-55\sim+75^\circ C$  である。

6562 はラジオ・ゾンデ用の発振管で周波数は固定 (1680±12Mc) である。  $E_f=6.3V$ ,  $I_f=170mA$ ,  $I_p=34mA$ ,  $G_m=4,000\mu U$ ,  $\mu=15$ , 最大出力は 300mA(min) である。



(東京都品川区東戸越5の22)  
太陽電子 K. K.

### リーダーの普及型オシロ “LBO-3A”

本器は 75mm ブラウン管を使用した準広帯域オシロとして設計されたものである。周波数特性は数 c/s より Mc オーダーまでの信号を取扱うことができ、掃引発振はマルチバイブレーターにより 150kc まで伸びているから、かなり広範囲にわたる観測ができるわけである。同期信号は増幅されてかかるから、安定した同期が得られ、内部同期の場合には+を交えて波形の観測をすることができる。

使用真空管は 12AT7×2, 12AU7×3, 6U3, 6X4, 1X2B, ブラウン管は 3KP1 (加速電圧 1000V), 外形寸法は 180×265×310(mm) で、重量は 7.7kg である。定価は ¥37,800。

(東京都目黒区上目黒5の2596)  
大松電気 K. K.

